



大君地区における
災害関連緊急急傾斜地
崩壊対策事業に関する説明会

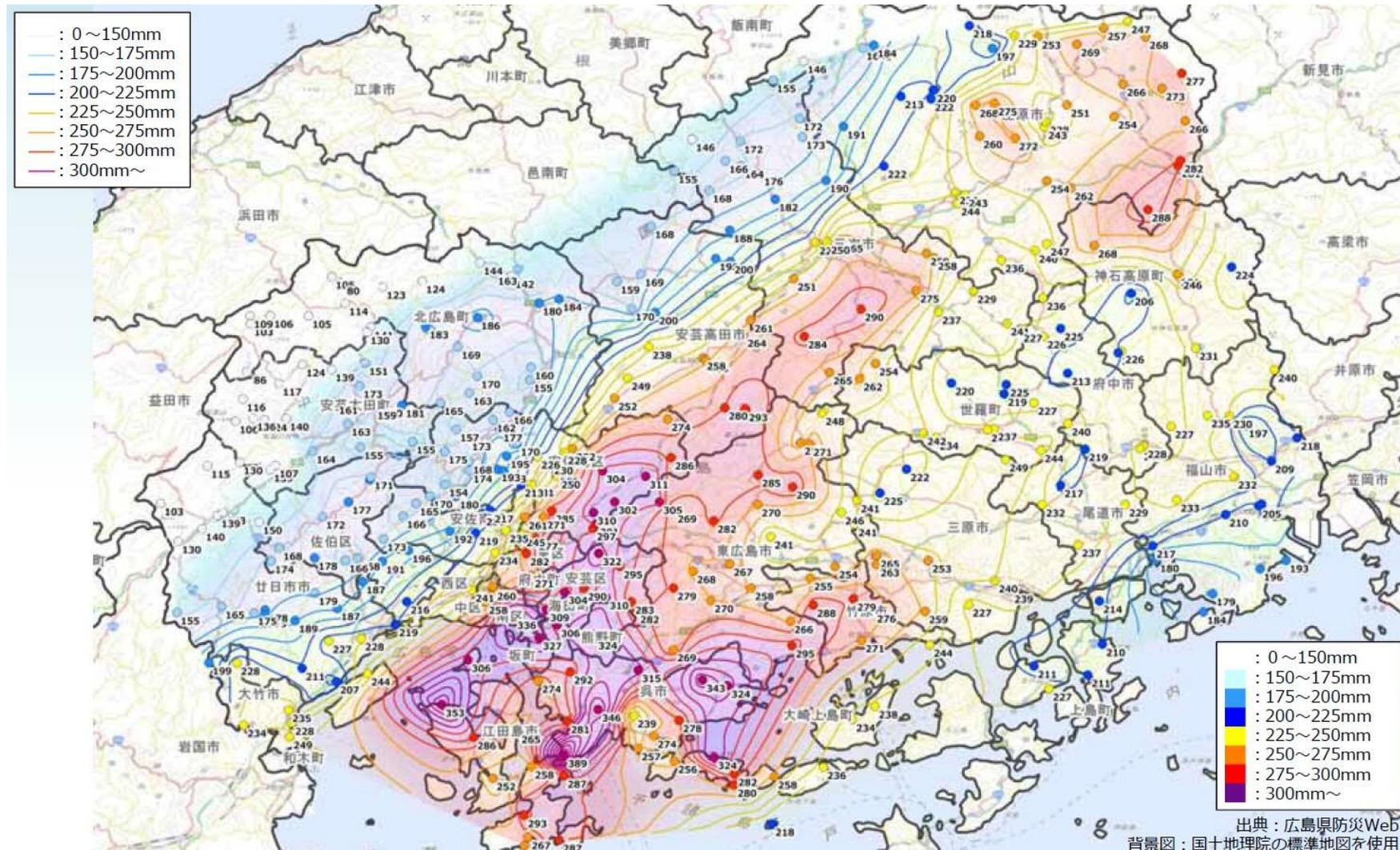
日時：平成30年12月6日

場所：江田島市 大君自治会館

広島県西部建設事務所

平成30年7月豪雨の概況

- ・7月4日に日本海中部で台風7号が温帯低気圧に変わり、温帯低気圧からのびる梅雨前線が西日本に停滞し、温かく湿った空気が流れ込んだため、6日昼過ぎから7日朝にかけて大雨となり、22市町に大雨特別警報が発表された。
- ・7月6日12:00～7月7日12:00の24時間雨量は、南西部、南東部、北東部で200mm以上を観測。
- ・北東部の特に多いところでは250mm以上、南西部の特に多いところでは350mm以上を観測。

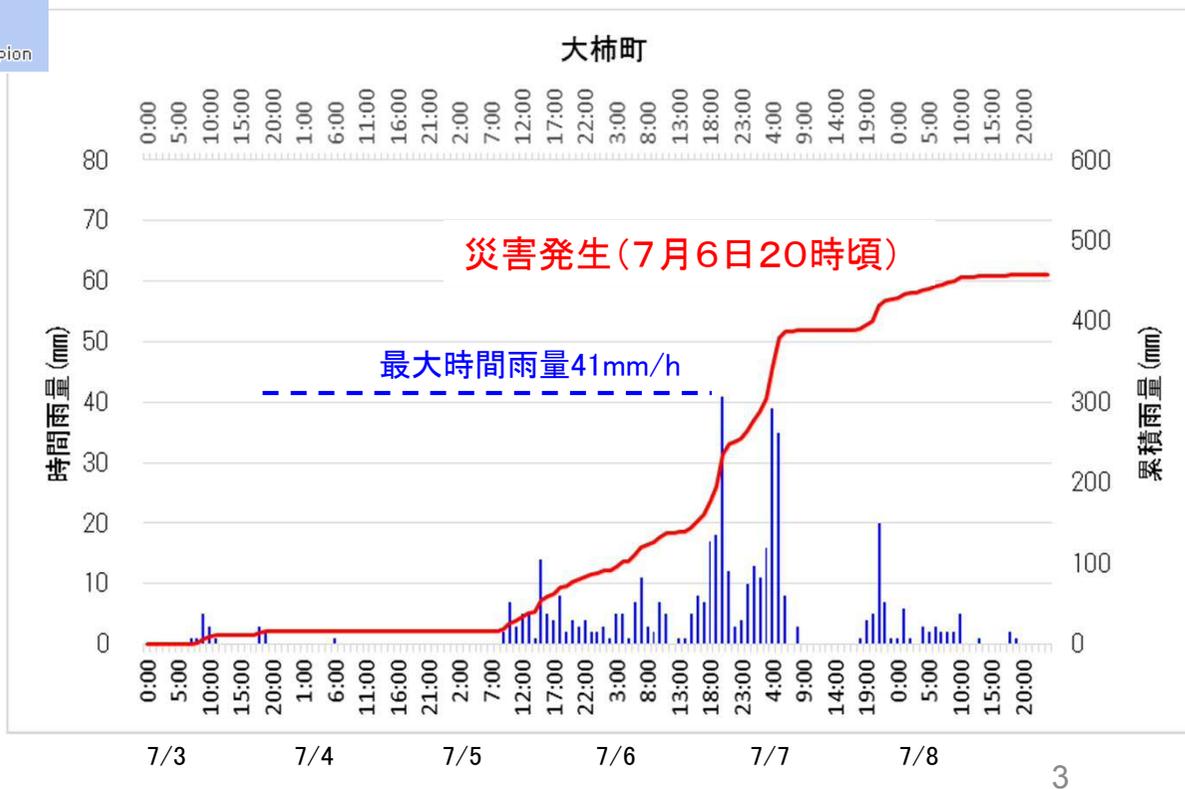


被災箇所 の 気象状況



■雨量観測所名：大柿町

発生降雨による総雨量	459mm (7月3日 7時~7月8日19時)
最大24時間雨量	284mm (7月6日 6時~7月7日 6時)
最大時間雨量	41mm (7月6日19時~7月6日20時)



事業の目的

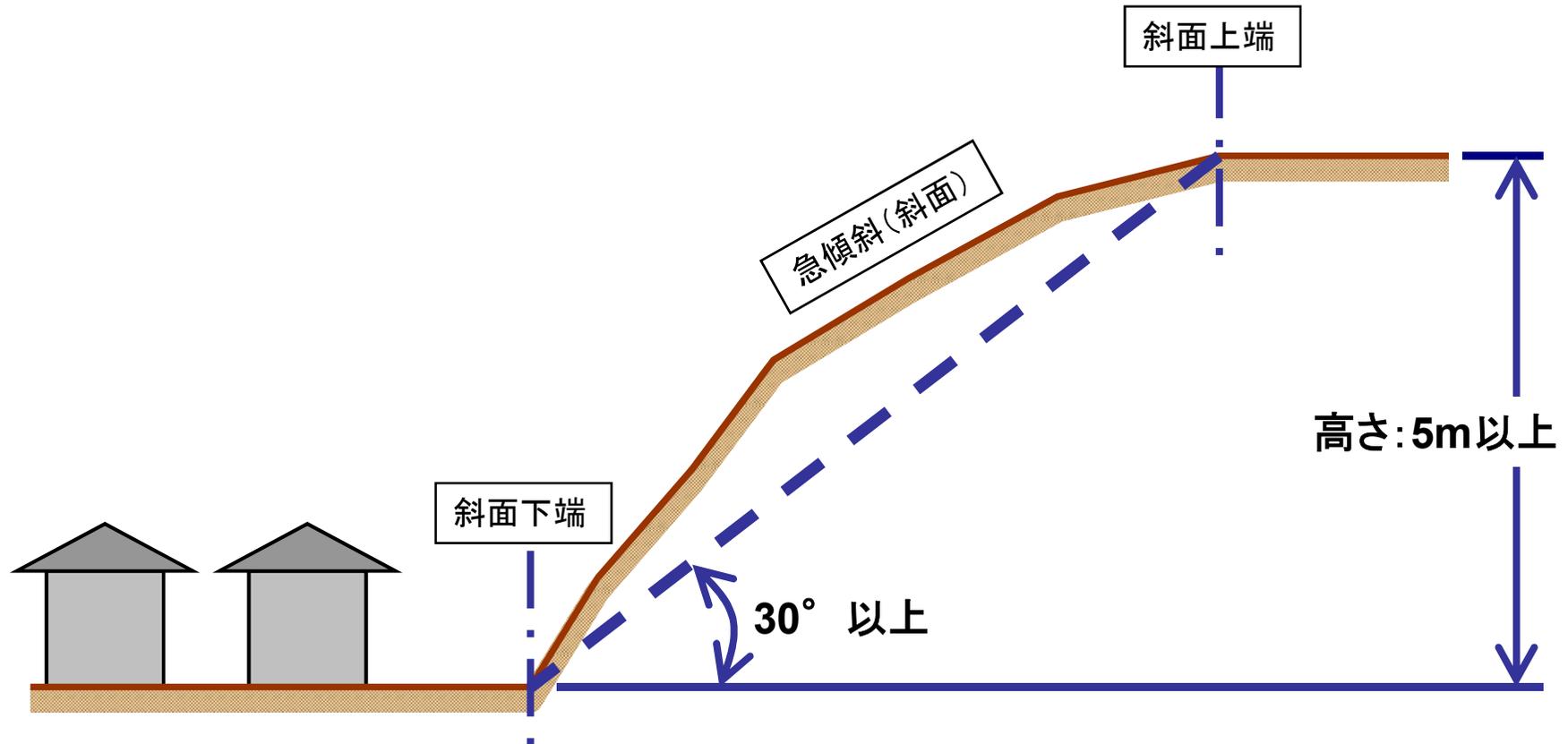
急傾斜地崩壊危険箇所について、急傾斜地の崩壊による災害から住民の生命を保護するため、急傾斜地崩壊対策施設の設置を行う。



急傾斜地とは？

急傾斜地とは？

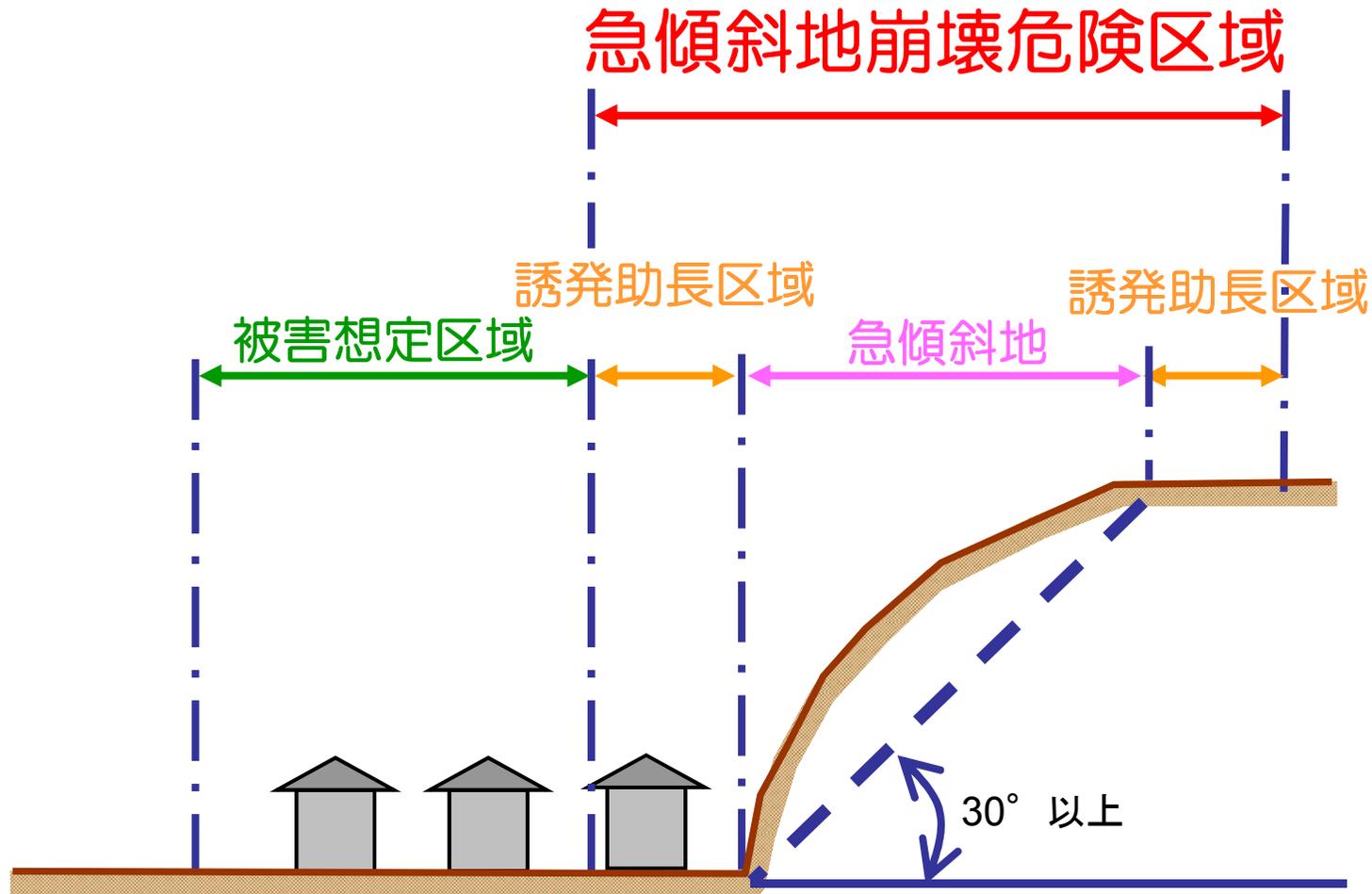
- 斜面角度 30° 以上 • 斜面高さ5m以上



急傾斜地崩壊危険 区域について

急傾斜地崩壊危険区域とは？

崩壊するおそれのある急傾斜地（傾斜度が30度以上）である土地で、その崩壊により相当数の居住者その他の者に危害が生ずるおそれのあるもの及びこれに隣接する土地のうち、当該急傾斜地の崩壊が助長され、又は誘発されるおそれがないようにするため、行為を制限する必要がある土地の区域



※誘発助長区域：急傾斜地の崩壊が助長され、または誘発されるおそれのある区域

※被害想定区域：急傾斜地の崩壊により被害を受けるおそれのある区域

がけ崩れについて

- 地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。

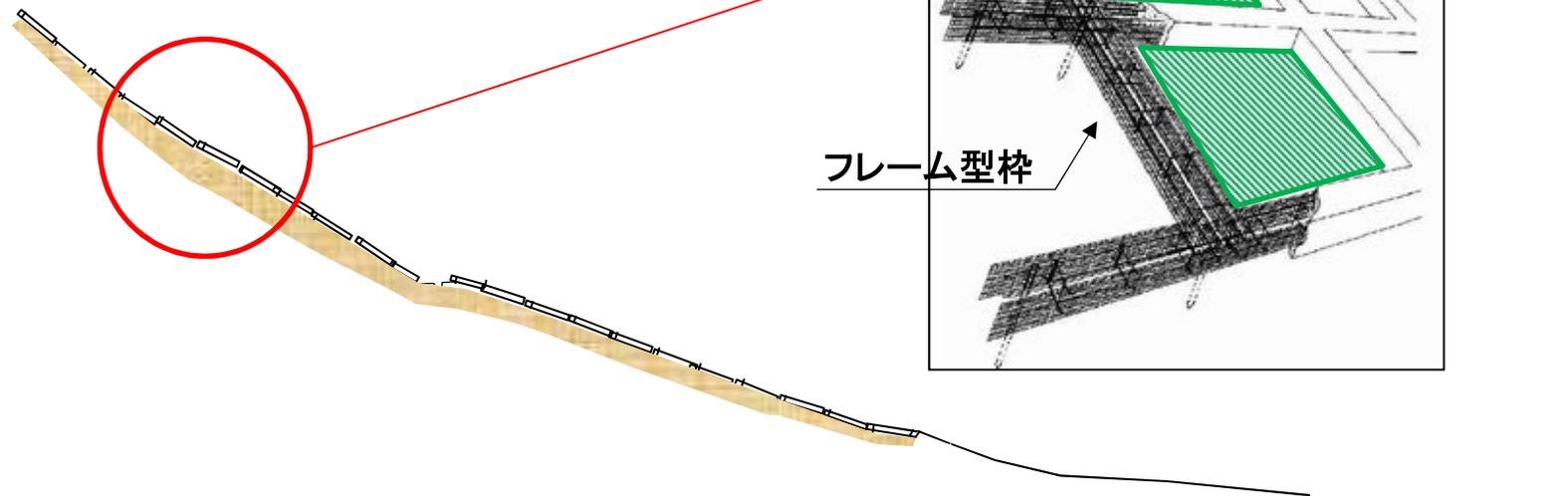


急傾斜対策について

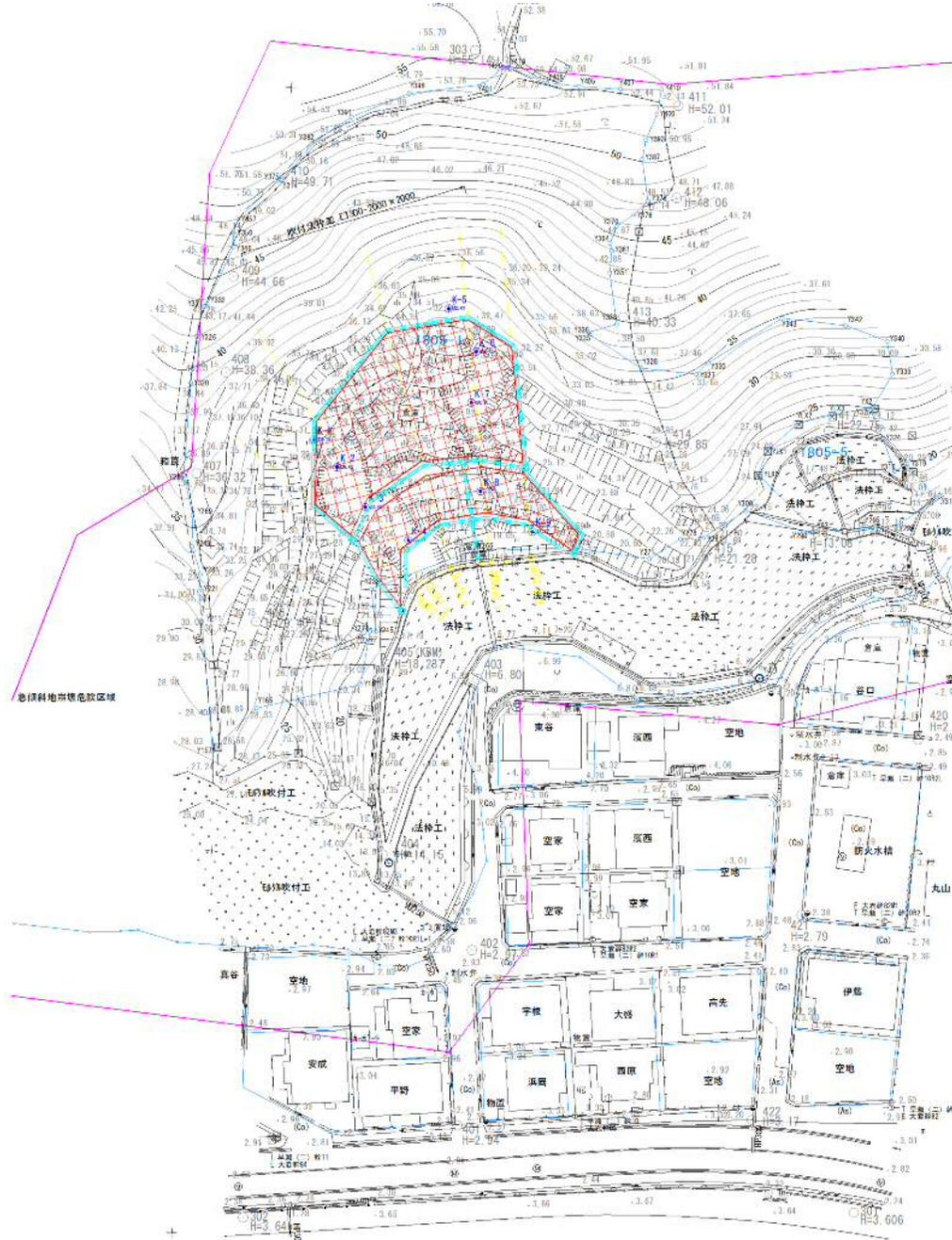


法枠工

法枠工は、法面の風化・浸食を防止するとともに、法面表層の崩壊を抑制する目的で作る施設です。

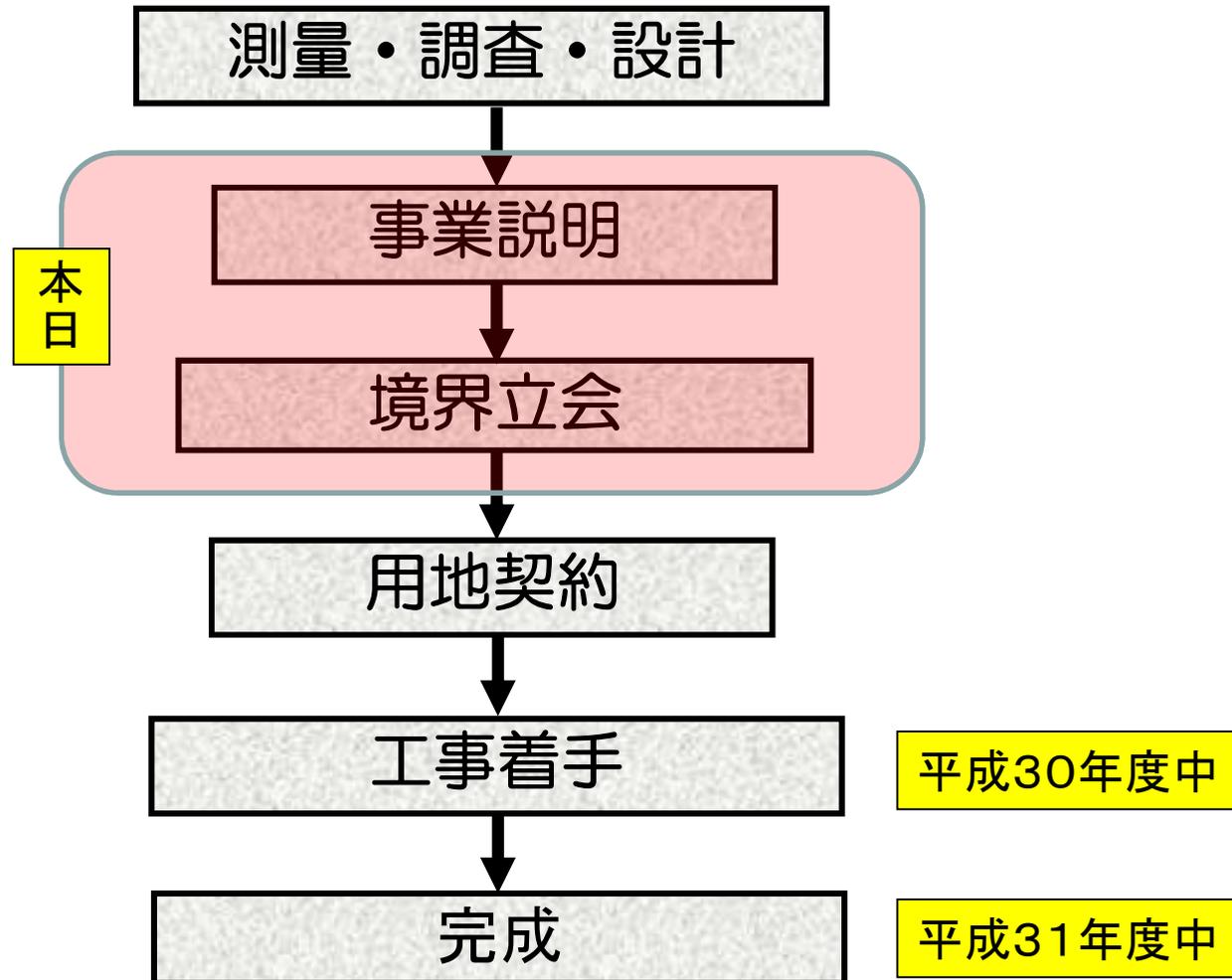


大君地区 災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業 計画平面図(案)



事業の流れ

事業工程および今後のスケジュール



事業実施にあたって

事業を実施するにあたって

【急傾斜地崩壊危険区域】においては、次に掲げる行為は広島県知事の許可が必要となる制限行為があります。

1. 水を放流し、又は停滞させる行為や水の浸透を助長する行為
2. ため池、用水路等の急傾斜地崩壊防止施設以外の施設又は工作物の設置や改造
3. 法切、切土、掘削又は盛土
4. 立木竹の伐採
5. 土砂の採取又は集積
6. 木竹の滑下又は地引きによる搬出
7. その他、急傾斜地の崩壊を助長し、又は誘発するおそれのある行為

